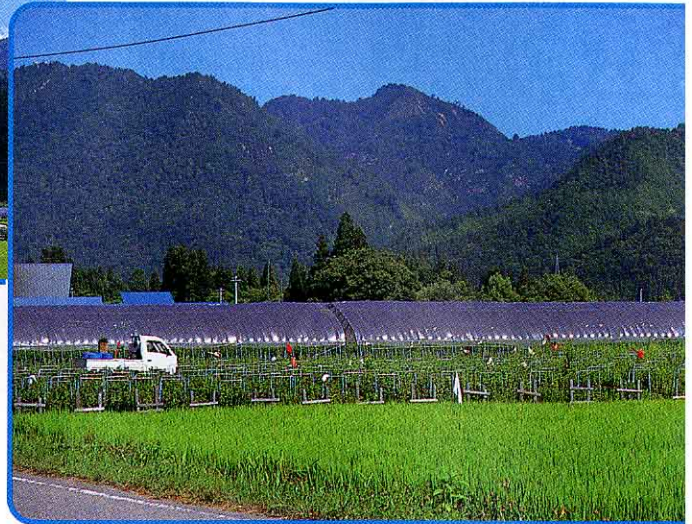


(2) 只見町の田や畑のしごと (農業)



- ◀ 明和地区の田のようす (1996年8月)
- ▶ 稲・リンドウ・トマトのハウスが
ならんでいる。



わたしたちが住む只見町は、
広さでは福島県で2番めで、福
島市と同じくらいです。(1番
はいわき市) しかしけわしい山

が多く、田畑の広さは、町全体の1/100くらいしかありません。

以前、只見町の農家では、小さな田をあちらこちらの場所に持って
いました。そこで、昭和58年度(1983年)から平成4年度(1992年)
に県営ほ場整備事業(小さい田をいったん平にし、一つ一つの田を大き
な長方形にととのえたり、用水ろをととのえて、かんがいと排水のコント
ロールができるようにする工事)が行われました。これによって、コン
バインなどの大きな機械もつかえるようになりました。また、水を入
れて田んぼにして米を作ったり、水を入れずにトマトや花の畑にした
りすることが、以前よりかんたんにできるようになりました。

道路のまわりの田では、米作りのとなりで花が作られ、そのとなり
にはトマトのハウスが立ちならんでいるような所も多くみられます。



ちか
近くの田や畑へ見学に行って、作られているものや農家の人のしごとを調
べてみよう。